

哀話の系譜

うとうやすかた

菊地章太「著」(東洋大学教授)

四六判・並製・一八四頁・本体一、八〇〇円＋税



ウトウを殺した報いのために地獄で責め苦を受ける亡者を描く謡曲『善知鳥』。この哀話に多くの人が魅せられたのはなぜか。文芸作品や仏教文献、そしてこの主題を追いつづけた菅江真澄の足跡をたどり、哀しみの根源にせまる。

2023年2月刊行

哀話の系譜



うとうやすかた

菊地章太

謡曲
『善知鳥』
この救いのない
哀話に
多くの人が
魅せられたのは、
なぜか。
哀しみの根源に
せまる。

定価・本体一、八〇〇円税別
[文芸思想 法蔵館]

はじめに——うとうの神社から

後編 追尋、そして放擲

前編 文芸の源泉を求めて

第五章 文学から博物学へ

第一章 親子鳥の哀話

受け継がれる伝統／海鳥の生態観察／語源探求の深化

第二章 王朝文芸の系譜
『善知鳥』の世界／物語の生成と受容／謡曲に先行するもの

第六章 ある旅人の探求
歌枕見まほしとて／古歌を引くよすがが／う

第三章 救いのありか
古今伝授の鳥たち／増幅する虚構の世界／くれないの涙

第七章 なぜ放擲したか
古き名どころを尋ねて／「はやこ／＼」／なみ

第四 明けても暮れても殺生／あこぎな者たちの定め／如来の放つ光に

だの雨に／白太夫説批判／陸奥出羽路の三十年／わが心なぐさめかねつ／北限の海鳥の物語

第五 うないおとめの末路／紅蓮大紅蓮地獄／「亡者」の影は失せにけり

補遺 謡曲『善知鳥』
おわりに——うとうへ、ふたたび

和歌索引／索引

【著者略歴】 一九五九年横浜市生まれ。筑波大学卒業、筑波大学大学院博士課程中退、トゥールーズ神学大学高等研究院(現 Institut Catholique de Toulouse) 留学、東洋大学教授、博士(文学)、比較宗教学専攻。著書、『神呪経研究』(研文出版)、『東アジアの信仰と造像』(第一書房)、『位牌の成立』(東洋大学出版会)、『弥勒信仰のアジア』(大修館書店)、『葬儀と日本人』(ちくま新書)、『儒教・仏教・道教』(講談社学術文庫)。訳書、シャヴァンヌ『泰山 中国人の信仰』(平凡社東洋文庫)、ほか。

注文書		様冊	
(書店名)		ご担当	
法蔵館		一、八〇〇円＋税	
菊地章太著		哀話の系譜 うとうやすかた	
ISBN978-4-8318-7764-2 C0095		住所	
お名前		お電話	

ご注文は FAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

文学・思想